
即興型ディベートで求められる英語スキルと TOEFL Primary®・Junior®の親和性

大阪府立大学工学研究科・准教授
一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会・代表理事
中川 智皓

はじめに P2

TOEFL Primary®における即興型ディベートの要素 P3

TOEFL Junior®における即興型ディベートの要素 P5

おわりに P7



Danke Sehr



はじめに

高等学校の新学習指導要領において、
外国語では「論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」が各2
単位(標準)で導入され、その内容にはデ
ィベートやディスカッションの活動が明記さ
れています。専門学科(文理学科や国際
科学、国際教養など)における教科「英語」
における科目では、「ディベート・ディスカッ
ションⅠ、Ⅱ」という名称も示されています。
学校の通常授業において、ディベートの必
修科目化が進んできていることがわかりま
す。さて、ディベートとはあるテーマについて、
肯定・否定の2つのグループに分かれて討
論することです。競技としての形式ではいく
つかのルールがありますが、ここでは証拠

を準備して資料を読み上げる証明型では
なく、自分の持っている知識で論理を組み
立て説得する形式の即興型ディベートにつ
いて紹介します。英語での即興型ディベー
トでは、英語での発信力に加え、論理的
思考力、幅広い知識、プレゼンテーション
力、コミュニケーション力など複数の力が
効果的に鍛えられます。逆に、即興型ディ
ベートを上手に行うには上記の力の基礎
が必要でもあります。即興型ディベートを行
う基礎力とTOEFL Primary®、TOEFL
Junior®について見ていきます。各試験は
小学生～中学生と中学生～高校生が主な
対象です。

TOEFL Primary®における即興型ディベートの要素

まず、リーディングについて見ていきます。図1に示す問題は、人や物の行動や特徴について数文の説明があり、それが表す適切な語を選ぶ問題です。一見、ディベートとは何の関係もないように見えるかもしれません。

しかし、ディベートの要素を分解していくと、ある単語をわかりやすく端的に説明する基礎力が必要なのです。

図1の問題は、「外がうるさい。おだやかではない。葉が風に吹かれている。」という説明で「(A) 風が強い」を選ぶことになります。逆に、「風が強い」とはどういうことかを理解して自分なりの説明をする力がディベートでは求められます。単語帳で、「windy=風が強い」と丸暗記することとは異なります。丸暗記方式では、最低限、日英の翻訳対応ができていれば単語テストで点数をとることができてしまいますが、ディベートではその意味や高度にはその単語

の背景にある社会問題を自分で説明できなければ評価されません。私は過去に受験勉強で「censorship=検閲」と単語を丸暗記したことがあります。そして数年後、はじめて出場したディベートの国際大会で censorshipが含まれる論題に出会いました。論題の日本語訳はできたものの、censorshipとは何ぞやということをきちんと説明できず、かつ何が問題なのかもわからず議論を構築するのに苦労した思い出があります。つまり、図1の問題のように、ある単語の意味をわかりやすく端的に説明する力はディベートの基礎力として重要なのです。小学生～中学生に、いきなりwindyを英語で説明せよ、とするのは難しいケースも多いと思いますので、その下地としてwindyはどのように説明されるのかを問題文を通して学んでいく経験をつめるコンテンツは即興型ディベートとの親和性が見られます。

27. This day is very noisy outside. It is not calm. The leaves are blowing.

The day is _____.

- (A) windy
- (B) sunny
- (C) cool

図1. TOEFL Primary® Step1問題(模擬テスト第1回^[1])

図2に示す問題は、文章を読んで要点をつかむものと言えます。ディベートでは、相手チームが述べた話を受けて、反論を含めて自分たちの意見を述べていきます。その過程で大切なことは、相手の言いたいことは何なのか要点をつかむことです。相手の話をすべて聞くことは大事ですが、単に全部耳に入ればよいということではありません。

重箱の隅をつつくような反論は有効ではありませんから、相手が最も主張したい要

点をとらえて反論していくことが求められます。図2の問題では、まさに「この文章は何について述べていますか？」と問っています。選択肢には、an ice hotel, Canada, tripと単語が並びますが、いずれの単語も文章中にあるものです。ただ読んでいるだけであれば、いずれの選択肢も正解だと思ってしまうかもしれません。よく読んで、この文章で最も説明したいことは何なのかを考えるコンテンツです。

Read the text. Then answer questions 38 and 39.

Have you ever been to a hotel on a trip? I bet you've never been to an ice hotel! In Canada, there is an ice hotel. Everything is ice inside the hotel and it is open only during the winter. There are many things to do in the hotel. There is a restaurant and you can eat from ice cups and plates. Even your spoon is ice. Have you ever slept on the snow? Well at this hotel, you can sleep on an ice bed!

38. What is this text about?

- (A) About an ice hotel
- (B) About Canada
- (C) About a trip

図2. TOEFL Primary® Step1問題(模擬テスト第1回^[2])

次に、リスニングについて見ていきます。図3に示す問題は2人の会話を聞いて正しい答えを選ぶのですが、これも要点をつかむことを意識する練習になりそうです。特に、やりとりの内容を聞くことはディベートにおいても重要な基礎力となります。ディベートでは肯定チームと否定チームがあり、

第三者としてジャッジをするうえでもどちらのチームが何を主張しているのか意見を追っていくことは大切です。さらに、図3の問い合わせでは、WhyとBecauseがセットになっており、理由付けを重視するディベートの視点からは親和性のあるコンテンツと言えます。

32. M: Our science experiment requires wearing a mask.
 B: Why do we have to wear a mask?
 M: Because it protects you by covering your whole face.
 B: Why does the mask need to cover my face?
 M: So that nothing hot accidentally burns your skin.

32. How will the boy protect himself?

CD2
39

- (A) By using his hands
- (B) By wearing a mask
- (C) By closing his eyes

図3. TOEFL Primary® Step1問題(模擬テスト第1回^[3])

図4に示す問題も図3のものと同様に、2人のやりとりを通して、内容を理解できているか確認するものです。基本的に、リスニングの問題では、聞き取れているかを測定することが目的のため、設問を通して正しい選択肢を選ぶことで聞き取りの確認をしています。そのような意味では、設問の意図の本質からはややすれますが、これらのリスニングコンテンツを通して、ディベートに必要な「聞き取って割り込む力」の基礎が鍛錬できます。即興型ディベートでは、スピーチ中に割って入って質疑応答ができるPOI(Point of Information)というルールがあります。質問をするには聞き取る力が必要です。そして、聞き取った後には、疑

問点を自分で質問する力が求められます。さらに、質問を受けた側は答える力も必要になります。図4の設問では、Why～やWhere～など疑問文を通して選択肢を選ばせています。

つまり、これらの疑問文に慣れ親しむことで、POIにて質問をするときに必要な質問のベースを身につけることにつながります。そのような意味では、問題を解くだけでなく、設問を音読することも通して学習することでディベートへ向けた力が鍛えられるでしょう。このようにTOEFL Primary®を通してディベートに必要な力の素地が固められていきます。

13. W: Now, let's practice that dance one more time.
You need to practice jumping a little higher.
G: I think I will be fine.
W: No, you need more practice. I just want you to
be ready for your dance competition tomorrow.
G: I know. I'm just scared because I feel like I
might trip and fall if I'm too high in the air.
W: That's why we're going to practice again. That
way, you won't feel so afraid when you do it.

13. Why does the girl feel scared?

CD3
4

- (A) People will be watching her.
(B) The jumps are too high for her.
(C) She hasn't practiced her speech.

14. Where will the boy go next?

CD3
5

- (A) To his school
(B) To a baseball field
(C) To a baseball store

図4. TOEFL Primary® Step2問題(模擬テスト第1回^[4])

TOEFL Junior®における即興型ディベートの要素

TOEFL Junior®は中学生～高校生がターゲットのため、より即興型ディベートに直結しやすいコンテンツが含まれてきます。問題のタイプには、「要旨をつかむ問題」があります。表1に要旨をつかむ問題の例を示します。前章でも記載した通り、要点をつかむ力はディベートにおいて大切です。TOEFL Junior®ではTOEFL Primary®よりもボリュームがあるリスニングコンテンツで、

全体を通して最も伝えたい事柄をとらえる必要があります。即興型ディベートでは数分間にわたりスピーチがなされ、頭の中で論点を整理して次のスピーチに備える必要があるため、要旨をつかむ力を鍛えることは大切です。

また、表2に示すよう「話し手の目的をつかむ問題」のタイプもあります。ここにおいても要旨をつかむことは重要です。

- What is the **main topic** of the talk/announcement/discussion/conversation?
(この話・発表・討議・会話の主な話題は何ですか?)
- What is the **subject** of the talk/announcement/discussion/conversation?
(この話・発表・討議・会話の主題は何ですか?)
- What is the teacher/class **mainly** discussing?
(先生・生徒たちは主に何について討議していますか?)
- What does the teacher ask the students **to do**?
(先生は生徒に何をするよう頼みますか?)

表1 要旨をつかむ問題の例(TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集^[5])

- Why is the teacher **talking about X**? [X] はリスニング音声内の名称、日付、考え方など
(先生はなぜ、Xのことを話しているのですか?)
- What is the **purpose** of the announcement?
(この発表の目的は何ですか?)
- Why are the students **discussing X**?
(生徒たちはなぜ、Xについて討議しているのですか?)
- What is the **purpose** of the talk?
(この話の目的は何ですか?)

表2 話し手の目的をつかむ問題の例(TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集^[6])

話し手の意図に寄り添い、話された文脈をよく理解するよう努めねばなりません。またボリュームあるリスニングコンテンツをすべてメモすることはできませんので、キーワードをささっとメモしていくことが必要です。この行為は、即興型ディベートにおいても重要なスキルとなります。ディベートでは、ある論点がどのように反論されて、どのように再構築されて、どのようにまとめられたか、議論の流れを追う必要があります。

毎回、全文を書きだすことは時間的にも難しいですし、重要なポイントを整理して比較するためにも、一度頭できちんと解釈した内容を自分なりに書き出すことは重要となります。最終的に社会でグローバルに活躍する際には、要点をつかむ力、効果的な質疑応答を行う力は重要です。その訓練となるディベートにTOEFL Junior®の問題取り組みの経験を活かすことができるでしょう。

以上のように、TOEFL Primary®、TOEFL Junior®の問題には、即興型ディベートの基礎力となる部分が含まれていることがわかります。即興型ディベートという切り口で

問題に取り組むことで、これまで見えていなかった新しい勉強方法や復習での活用などのヒントになれば幸甚です。

参考文献

- はじめてのTOEFL Primary® テスト問題集Step 1, くもん出版, p.160, (2021)
- はじめてのTOEFL Primary® テスト問題集Step 1, くもん出版, p.167, (2021)
- はじめてのTOEFL Primary® テスト問題集Step 1, くもん出版, p.176,
解答・解説Step 1, p.34, (2021)
- はじめてのTOEFL Primary® テスト問題集Step 2, くもん出版, p.177,
解答・解説Step 2, p.43, (2020)
- TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集, くもん出版, p.14, (2021)
- TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集, くもん出版, p.18, (2021)